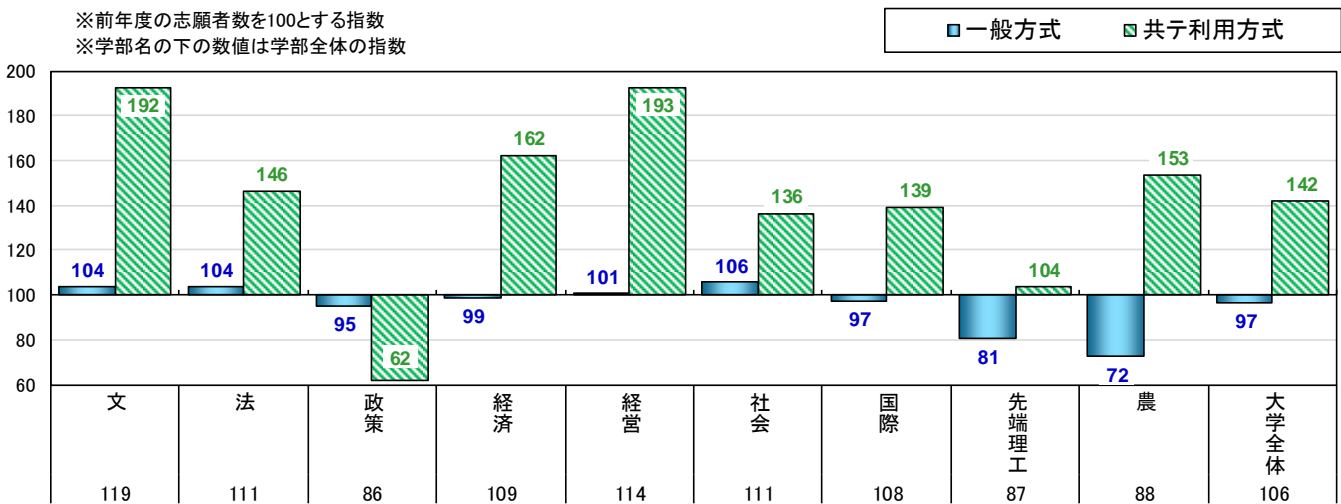


2021 年度入試状況分析【私立大】

龍谷大：大学全体では2年ぶりに増加 共テが大幅増加 一般：-1,394人 共テ：+4,492人



入試変更点

選抜方法：新規実施…文<共テ・前期2科目><共テ・前期4科目><共テ併用・前期><共テ・中期2科目><共テ・中期3科目><共テ併用・中期2科目><共テ併用・中期3科目>
法<共テ・前期2科目><共テ・前期4科目><共テ併用・前期><共テ・中期2科目><共テ併用・中期2科目><共テ併用・中期3科目>
政策<共テ・前期2科目><共テ併用・前期2科目><共テ・中期2科目><共テ併用・中期2科目><共テ併用・中期3科目>
経済、経営、社会<共テ・前期2科目><共テ併用・前期><共テ・中期2科目><共テ・中期3科目><共テ併用・中期2科目><共テ併用・中期3科目>
国際<共テ・前期4科目><共テ・中期2科目><共テ・中期3科目><共テ併用・中期2科目><共テ併用・中期3科目>
国際(グローバルスタディーズ)<共テ併用・前期>
国際(国際文化)<共テ・前期2科目><共テ・後期3科目>
先端理工<共テ・前期5科目><共テ・前期理科重視><共テ・中期数学重視><共テ・中期理科重視>
農<共テ・前期数理><共テ併用・前期農学><共テ・中期数理><共テ併用・中期農学><共テ併用・後期><共テ併用・後期農学>
農(植物生命科学、食品栄養、資源生物科学)<共テ・前期5科目>
農(資源生物、食料農業システム)<共テ併用・前期文系>
農(食料農業システム)<共テ・中期2科目>

選抜方法：廃止…文、法、政策、経済、経営、社会<セ併用・中期1科目>
法、国際、先端理工<セ・中期4科目>
農(植物生命科学)<一般・前期文系型>

入試科目：先端理工<共テ・後期>…〔(国 or 数 or 理 or 外)→3〕→数+理
農(植物生命科学、食品栄養、資源生物科学)<共テ・後期>…理+外→外+(数 or 理)
農(食料農業システム)<共テ・後期>…外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→〔(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→3〕

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、3,098人(106)のやや増加で前年度9年ぶりの減少から再び増加。学部別では、9学部中6学部が増加。文(119)が大幅増加、経営(114)、法(111)、社会(111)、経済(109)、国際(108)が増加。方式別では、共通テスト利用方式の科目種類の増加や新規方式導入により共通テスト利用方式は4,492人(142)の大幅増加、一方で一般方式は1,394人(97)のやや減少で2年連続減少。

<一般方式>

- 文(104)は、やや増加で2年ぶりの増加。学科・専攻別では、(哲学/教育学)(168)は、前年度大幅減少の反動で激増、(歴史/東洋歴史)(140)は大幅増加で2年連続増加。一方、(歴史/文化遺産)(76)、(歴史/仏教史学)(82)、(英語英米文)(82)は大幅減少で2年連続減少。
- 法(104)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、<中期高得点>(118)が大幅増加、一方で<後期スタンダード>(85)が大幅減少。
- 政策(95)は、やや減少で前年度大幅減少の反動はなく2年連続の減少。方式別では、<前期高得点>(117)が大幅増加、<後期スタンダード>(50)が半減。
- 経済(99)は、前年度並み。方式別では、<後期スタンダード>(136)、<後期高得点>(131)が大幅増加。
- 経営(101)は、3年連続前年度並。方式別では、<後期スタンダード>(87)がはっきりとした減少。
- 社会(106)は、系統への人気は低下しているが、やや増加で2年ぶり増加。学科別では、(コミュニティマネジメント)(131)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(社会)(103)はやや増加で前年度の反動による増減が継続、(現代福祉)(89)は3年連続減少。
- 国際(97)は、コロナ禍の影響から系統への人気は低下したこともあって、やや減少だが3年連続減少。学科別では、(国際

文化) (103)はやや増加だが2年ぶりに増加。一方でグローバルスタディース(83)は留学必須であることでコロナ禍の影響が大きく3年連続大幅減少。

○先端理工(81)は、大幅減少。学科別では、(応用化学)(94)がやや減少、(数理・情報科学)(86)が減少、その他全ての学科で大幅減少。

○農(72)は、大幅減少で3年ぶりの減少。学科別では、(食品栄養)(89)を除く全ての学科で大幅減少だが、特に<一般・前期文系型>方式を廃止した(植物生命科学)(58)の大幅減少が目立った。

<共通テスト利用方式>

○文(192)は、共通テスト利用方式の科目種類増加や併用方式の新規実施で激増。学科別では、仏教(101)の前年度並を除いた10学科で大幅増加。特に、(歴史/東洋史学)(301)は3倍以上の激増。

○法(146)は、前年度大幅減少の反動に加え、共通テスト利用方式の科目種類増加や併用方式の新規実施で大幅増加。

○政策(62)は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、特に実施2年目の<共テ・中期3科目>(16)と<共テ併用・前期>(41)の大幅減少が目立った。

○経済(162)は、2年連続減少の反動に加え、共通テスト利用方式の科目種類増加や併用方式の新規実施で激増。既存の方式別では、<共テ・後期>(192)が倍増近い激増、募集人員減少もあり志願倍率も4.8倍→15.3倍で大幅アップ。<共テ・前期4科目>(51)は大幅減少、<共テ・前期3科目>(86)は減少。

○経営(193)は、倍増近いが、既存の方式のみでの比較では(99)で前年度並。

○社会(136)は、前年度大幅減少の反動に加え、共通テスト利用方式の科目種類増加や併用方式の新規実施で大幅増加。学科別では、3学科全てで大幅増加。

○国際(139)は、前年度大幅減少の反動に加え、共通テスト利用方式の科目種類増加や併用方式の新規実施で大幅増加。ただし、既存の方式のみでの比較では(59)の大幅減少。特に(国際文化)<共テ併用・前期リスニング>(45)の大幅減少が目立った。

○先端理工(104)は、やや増加で旧理工から引き続いて4年連続増加。学科別では、(応用化学)(125)が大幅増加、(数理・情報科学)(111)が増加。

○農(153)は、大幅増加で3年連続増加。既存の方式のみでの比較でも(164)の激増。